## 事業番号 新28 - 0004

平成28年度行政事業レビューシート(警察庁)															
	事業名	高齢者	講習におけ	る新たな視野村	食査方法導	入に向けた調査	研究	担当部	邓局庁	交通局				作』	成責任者
事多	<b>東開始年度</b>	平成	28年度	事業 (予定	終了 )年度	平成284	丰度	担当	課室	運転免許課				運転免許課 郷治 知道	
£	計区分	一般多	会計												
根拠法令 (具体的な 条項も記載)		道路交通法第97条、道路交通法施工規則第23条					:	関係する通知		_					
主要政策・施策			安全対策					主要経費その他の事				-			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)															
(5行	<b>*業概要</b> 程度以内。  添可)	上下方向を含めた新たな視野検査方法により被験者に対して実際に検査を実施することでその有効性を検証するとともに、新たな視野検査方法を導入した 模擬高齢者講習を実施することでその効果を確認し、高齢者講習における新たな視野検査方法の導入の可否を判断する。													
実	<b>薬施方法</b>	委託•	請負												
					2	25年度		26年度		27年度			28年度	2	9年度要求
-	予算額・ 執行額		当神	7万算		-		-		-			18		0
		予算 の状 況	O#		-			_		-			_		
						-		-			-			-	
			翌年度	へ繰越し			-			-			_		
(単·	位:百万円)		予備費等			-					-				
		計			0		0 0		18		0				
			執行	額		-		-		-					
		執行率(%)			-		-		-						
成里	目標及び成	定量的な成果目標			成果指標			単位	25年度	264	丰度	27年度	中間目標 28 年度	目標最終年度	
	果実績	新たに導入すべき視野検査 方法の検討を行い、調査報 告書を作成			頼性・妥当性の検証実験、 調査報告		の信	成果実績	式	-	-	_	-	-	-
()	ウトカム)							目標値	式	-	-	_	-	1	-
		口音で下ル					達成度	%	_	_		-	-	_	
	成果目	漂及び	成果実績	(アウトカム)	欄につい	いてさらに記載	が必	要な場合に	<b>よチェッ</b> ク	つの上【別紙1	】に記i	栊		チェック	
	指標及び活			活動	指標				単位	25年度	264	丰度	27年度	28年	度活動見込
	動実績 ウトプット)	新たに導入すべき視野検査方法の検討を行い、調査 告書を作成					査報	活動実績	式	-	-	_	-		
								当初見込み	式	-	-		-		1
		算出根拠						N4 (+ 1/ + 1)	単位	25年度	264	丰度	27年度	28年	度活動見込
	位当たり コスト							単位当たりコスト	百万円	-		_	-		18
			To The	『業に要した!	経費/事	費/事業数		計算式	事業費/事 業数	-	-	-	-		18/1
平	歳出	予算目	<b>■</b>	28年度当初	予算	29年度要求					主	な増減	理由		
成 2	調査研究			18		-									
単.															
亡 位 2 三 9															
(単位:百万円8・29年度3															
日万円 ) 年度予算															
) 内															
訳		計		18		0					_	_			

政		政策	安全かつ快適な交通の確保				
策評価、		施策	運転者対策の推進				
経済			定量的指標				
財政再生アクシ	政策評	測定	70歳以上の高齢運転者による交 ※実績値、目標値については、暦				
/ョン・	価	損標	定量的指標				
生アクション・プログラムとの			70歳以上の免許保有者10万人: ※実績値、目標値については、暦				
の関係		<b>+</b> -=□ 7	*********				
			を研究により、これまで水平方向の 者講習へ導入することにより、上記				
国費	事業の	の目的	項 目				
要投性入	地方自治体、民間等に委ねることができない事						
の必	政策目事業な		達成手段として必要かつ適切な事				
	_		保されているなど支出先の選定は				
	一般競争入札、総合評価入札又は随意 者応札又は一者応募となったものはない						
事業の効率	競争性のない随意契約となったもの						
率性			負担関係は妥当であるか。				
			コスト等の水準は妥当か。				
			の中間段階での支出は合理的なも ボ事業目的に即し真に必要なものに				
			「事業日的に即じ真に必要なもの」 きい場合、その理由は妥当か。(理				
			削減や効率化に向けた工夫は行				
	てりル	ピーヘロ	111/100 ( )93 [ 18(-1/1//2=)(10/1)				
事			成果目標に見合ったものとなってし				

	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標年度	目標年度 32 年度
	70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数	実績値	件	709	687	686	-	
	※実績値、目標値については、暦年による数値		件	694	694	694	-	686
握			単位	25年度	26年度	27年度	中間目標	目標年度
	定量的指標						年度	32 年度
	70歳以上の免許保有者10万人当たりの死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値		件	8	7.4	7.2	-	
			件	9.6	9.6	9.6	-	7.2
	本事業の原	大果と上位	施策•測	定指標との関	係			

Dみであった視野検査を上下方向を含めた視野全体を検査することでより精度の高い視野検査方法を確立させ、

	日田	日明日で与バテもことにより、	工化定里的	指標における交通安全対策の向 		261000		
	l	173		事業所管部局による点核	1	==/#.(BB-+-7.=X-DB		
		項			評価	評価に関する説明		
国費	事業の目的	は国民や社会のニーズを的る	雀に反映してい	いるか。	0	高齢運転者の視野狭窄等を原因とする事故の未然防止を目的としたものであり国民や社会のニーズに反映している。		
要投 性入	地方自治体	、民間等に委ねることができれ	ない事業なの	か。	0	高齢運転者の運転適性を図るものであり、国で予算措置をする必要がある。		
の必	政策目的の 事業か。	)達成手段として必要かつ適り	]な事業か。政	て策体系の中で優先度の高い	0	高齢運転者の免許取得に起因する事業のため優先度が高い。		
	競争性が確	『保されているなど支出先の選	定は妥当か。		0			
+		競争入札、総合評価入札又は 札又は一者応募となったもの		画競争)による支出のうち、一	無	一般競争入札により複数業者による競争を行い、競争性 保する。		
事業の効	競争 <sup>·</sup>	性のない随意契約となったもの	のはないか。		無			
率性	受益者との	負担関係は妥当であるか。			-			
11	単位当たり	コスト等の水準は妥当か。			0	参考見積書を積算・査定し、予算要求を行っている。		
	資金の流れ	ルの中間段階での支出は合理	的なものとなっ	っているか。	-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。					高齢者講習のために必要であり妥当である。		
	不用率が大	きい場合、その理由は妥当か	、(理由を右に	こ記載)	-			
	その他コス	ト削減や効率化に向けた工夫	は行われてい	るか。	-			
	成果実績は	成果目標に見合ったものとな	っているか。		-			
業の上		:当たって他の手段・方法等が コストで実施できているか。	考えられる場	合、それと比較してより効果的	-			
有効	活動実績は	見込みに見合ったものである	か。		0	今後の高齢者講習に活用されるものである。		
性	整備された	施設や成果物は十分に活用さ	れているか。		-			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)							
		所管府省•部局名	事業番号	事業名	ı			
関連事								
業								
点検・	点検結果	・高齢運転者の事故防止に	努めることによ	より、その他運転者・歩行者等 <i>の</i>	安全確保	よに繋がっていくものである。		
改善結果	改善の 方向性 ・本業務は、高齢運転者の事故防止を目的としており、今後も実施する必要がある。							

外部有識者の所見									
外部有識者点植									
	行政	事業レビュー推進チームの	)所見						
終了予定	要求に当たって検討すべき事項について、おおむれ	a適切に検討がなされている。							
	所見を踏まえ	えた改善点/概算要求におり	ける反映状況						
予定通り終了	特になし								
		備考							
	関連する	る過去のレビューシートのヨ							
平成22年度	- 平成23年度		平成24年度 -						
平成25年度	平成26年度	-	平成27年度 -						

<b>資金の流れ</b> (資金の受け取 り先がるかについて では記する) (単位:百万 円)		<ul><li>(平成28年度イメージ)</li><li>【一般競争入札を予定】</li><li>A :請負者 落札額</li></ul>	警察 18百万	庁 5円		
費目・使途 (「資金の流れ」においてロック領が支出されている者について記載する。要目と使がの双方で実情が	費 目警察装備費	A.委託業者 使 途 高齢者講習における新たな視野検査方法に 向けた調査研究	金額 (百万円) 18	費目	B. 使 途	金額(百万円)
分かるように記載)						
		_		ļ		

#### 支出先上位10者リスト A.

	支 出 先	法 人 番 号	業務概要	支 出 額(百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	ー者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	委託業者		高齢者講習における新たな 視野検査方法に向けた調 査研究		一般競争入札	-	-	
2								
3								
4								
5								
	支出先上位10	者リスト欄について		□ チェック				

# 高齢者講習における新たな視野検査方法導入に向けた調査研究

## 調査研究の目的と背景

免許証の更新を予定している、70歳以上の高齢運転者を対象とした高齢者講習においては、運転適性検査の項目の一つとして、水平方向の視野検査を実施しているところである。しかしながら、高齢者に多く見られる緑内障等の視野に影響を与える病気については、水平方向の視野のみに影響を与えるわけではなく、上下方向を含めた視野全体に影響を与えるものであり、この上下方向視野についても安全な運転に影響を与えていることが、過去の調査研究で明らかとなったところである。

適性検査における上下方向を含めた視野全体を検査する方法については現在のところ確立されていないため、過去の調査研究において調査検討した視野検査方法により、被験者に対して実際に検査を実施することでその有効性を検証するとともに、新たな視野検査方法を導入した模擬高齢者講習を実施することでその効果を確認する。

## 調査研究委員会の設置

〇 委員会員構成

委員長以下10名(運転者教育有識者: 1名、交通工学有識者: 1名、眼科専門医: 3名、自動車教習所関係者: 2名、都道府県警察: 1名、科警研: 1名、警察庁: 1名)

〇 開催回数及び時間

4回/2時間

#### 新たな検査方法の確立

## 新検査方法の確立

過去の調査研究で調査検討した各種視 野検査の方法について、眼科専門医等の 有識者の協力を得て、最良な新たな視野 検査方法を選定する。



## 新視野検査方法の検証

新たな視野検査器と医療用機器による 視野検査を、20代~80代で視野に異常が ある者計200人に対してそれぞれ実施し、 新たな視野検査方法の有効性について比 較・検証する。

## 高齢者講習等への導入検討

#### 模擬高齢者講習の実施

新たな視野検査方法を導入しての模擬 高齢者講習を、指定自動車教習所におい て、70歳以上の高齢者6名単位で3回実 施し、被験者及び講習指導員に対してア ンケート、ヒヤリング調査等を行う。



## 高齢者講習への新たな視野検査方法導入 に向けての検討

模擬高齢者講習の実施結果から、高齢 者講習への新たな視野検査方法導入に向 けての問題点抽出及び効率的かつ効果的 な運用方法の検討を行う。

## 高齢者講習への新たな視野検査方法導入の可否判断

上下方向を含めた新たな視野検査方法が確立され、模擬高齢者講習の実施結果からその有効性が検証された場合には、高齢者講習への新たな視野検査方法導入についての可否を判断する。